

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 134 号

2015/3/23 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを 5 本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き:

① 最高 5 月 LDN 市場 £ 1,977 / 5 月 NY 市場 \$2,869 (3/16) 先週比 LDN -41 / NY -65
② 最低 : 5 月 LDN 市場 £ 1,923 / 5 月 NY 市場 \$2,715 (3/19) 先週比 LDN -57 / NY -103
週内価格差額 (①-②) : LDN 市場 £ 54 (傾向 ↑) / NY 市場 \$154 (傾向 ↑)
週内建玉推移 : LDN 市場 251,735 枚 (3/12 終了時) ⇒ 241,020 枚 (3/20 終了時) **-10,715 枚**
NY 市場 210,307 枚 (3/12 終了時) ⇒ 208,546 枚 (3/20 終了時) **-1,761 枚**

	2015/3/16(月)		2015/3/17(火)		2015/3/18(水)		2015/3/19(木)		2015/3/20(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-May	1977	2869	1968	2788	1949	2758	1923	2715	1945	2790
5-Jul	1969	2791	1965	2782	1950	2751	1929	2709	1945	2783
5-Sep	1961	2783	1960	2775	1943	2745	1922	2704	1939	2777

2、オーラム : コートジのサンペドロにプロセッサーを設立(3/19)

オーラムはコートジのサンペドロにカカオ豆の摩砕設備を設立することを公表した。

全体で 7500 万 US ドルの設備投資を行い、2014 年 7 月には受託され、品質と環境問題に注力したアフリカでもっとも最先端を行くプロセッサーとなっている。

この工場では年間 7 万 5000 トンの摩砕能力があり、ホールビーンズローストとカカオニブローストによるカカオマス、ココアバター、ココアケーキを製造している。この工場で使用されるカカオ豆は、オーラムの幅広い農家ネットワークを通して購入され、そのサプライヤーはコートジ全域に渡っている。カカオ豆の購入を通して、農家の持続可能な経営をサポートし、トレーサビリティの実現も可能にした。

この工場では 450 人もの現地スタッフを雇用し、その中にはエンジニアや研究開発、財務、マネージメント、工場専属のナース、人事、IT などの専門スキルをもつ者も含まれる。

オーラムにとっても、このコートジの工場への設備投資額と規模は2番目に大きく、工場全体として6000人もの人材を雇用している。

オーラムの Sunny Verghese 氏は「我々はサンペドロにこうした素晴らしいプロセッサ工場を持てたことを誇りに思っている。我々オーラムがコートジで事業を始めて20年経ったが、この工場はその取り組みを祝うものであり、特別な存在である。オーラムはこれまでずっと長い間コートジとともに歩んできた。主にカカオ、カシューナッツ、コーヒー、綿、パーム、ゴムの分野で重要な投資を行ってきた。」と述べている。

また「我々はコートジの将来の発展と繁栄を信じている。そして設備投資を伸ばし、利益率が高く、また重要なビジネスを成長させていく。コートジのプロセッサ工場は、オーラムとコートジがともに歩み続けてきた証である。我々はこの先もずっと、強固な関係を持ち続け、2020年を目標に新興国となるべく野望を共有していきたい。」と続けた。

また別の担当者は「世界最大規模の工場の設立は、世界最大のカカオ豆生産国であるコートジにとっても重要なことである。この工場のおかげで世界中の顧客に、カカオ豆やカカオ製品の安定供給をもたらしている。我々は、オーラムでもっとも現地に根差したプロジェクトが今現実となったことを誇りに思い、同時に政府関係者やサプライヤーに感謝の気持ちでいっぱいである。」と述べている。

3、カメルーン：2月末時点でカカオ豆輸出量が19%上昇(3/17)

カメルーンは2月末までに16万6699トンのカカオ豆を輸出した。カメルーンの国立カカオコーヒー委員会(NCCB)によると昨年比で19%上昇しているとのことだ。

アフリカ第4位のカカオ豆生産国であるカメルーンは、2月単体で見ると1万9806トンを輸出し、1月の3万942トンより下落した。しかし2月の輸出量は昨年2月の6580トンよりもはるかに大きい数字となった。NCCBによると1月には21社、2月には20社の輸出業者が取引に参加している。

カメルーンのカカオ豆の収穫期は8月1日から開始し、翌年7月31日までとなる。この期間のうちメインクロープは10月から1、2月で、ライトクロープは4、5月から6、7月となる。

2010/11期のカカオ豆生産量は24万トンを記録したが、乾燥気候が長く続いたり、ブラックポッド病が蔓延したりと徐々に生産量が減少してきた。

4、コートジ：高温で乾燥状態が続き、ミッドクロープの収穫期が遅れる(3/17)

コートジのカカオ豆主生産地では、高温で乾燥状態が続き、4月から9月に向けて続くミッドクロープの収穫が遅れている。一方主生産地以外の地域には十分な降雨があった。

コートジは11月半ばから3月まで続くとされる乾季から、ようやく抜け出そうとしている。

花芽形成のためには、3月終わりまでに少なくとも1回の降雨が必要であり、それによりようやく小さなカカオポッドが実り始める。

サンペドロの沿岸部の農家は、ここ 2、3 週間に雨が全く降っておらず嘆いている。サンペドロ郊外の農家は「暑くて農地は乾いている。そのため根や花が枯死し、ミッドクロップの収穫期が遅れるだろう。」と述べている。

西部の Soubre 地区では、ここ最近降雨が観測されていない。そのため多くのカカオが枯死し、ようやく実ったカカオポッドも小さくなってしまう。

Daloa 地区でも同じように乾燥気候が続く。農家は「土地に十分な水分がない。もし雨が降っても強い日が差してしまうと、例年よりもミッドクロップの時期は短くなるだろう。すでに一部の若いカカオは枯死してしまい、収穫に遅れが出始めている。」と述べた。

5、カメルーン：農家最低保証価格が上昇(3/16)

カメルーンのカカオ豆農家最低保証価格は 3 月中旬以降上昇した。これはメインクロップが終わりに近づくとつれて、収穫量が減少するためである。

カメルーンのカカオ豆は中央部の Bafia で取引されるが、k g あたりの価格が 1450CFA (2.42USD)となり、1 か月前の 1375CFA(2.29USD)より上昇した。

カメルーン南部 Sangmelima 地区の生産者は「高値で取引されることは農家にとって良いことであり、農家はカカオ栽培を増やすため農地を拡大しようとするだろう。」と述べた。

カカオ豆はカメルーンの主な収入源となっており、10 つの地域で栽培が行われている。

*カメルーン・カカオ豆価格（農家最低保証価格）

地域

(南西部) 2 月 3 月

Mamfe	\$2.0040	\$1.9372
Konye	\$2.3630	\$2.1459
Mbonge	\$2.3460	\$2.1376
Muyuka	\$2.3630	\$2.1543
Kumba	\$2.3714	\$2.1710

(中央部)

Bafia	\$2.4215	\$2.2963
Emana	\$2.3964	\$2.2545
Mbalmayo	\$2.3964	\$2.2295

(南部)

Ebolowa	\$2.3630	\$2.1209
---------	----------	----------

Sangmelima	\$2.3714	\$2.1543
------------	----------	----------

(東部)

Bertoua	\$1.8370	\$1.6950
Yokadouma	\$1.7785	\$1.5614

6、ナイジェリア：1か月遅れでミッドクロップの収穫開始(3/18)

ナイジェリアの2つの主生産地にて、ミッドクロップの収穫が1か月遅れで始まった。遅れの原因はここ最近降り続いた雨の影響によるものだ。

ミッドクロップとして収穫されるカカオ豆は、メインクロップと比べサイズが小さく重量も軽い。収穫期は通常3月から7、8月となるが、サイズが小さい理由として11月から2月に訪れる乾季がある。乾季の間はミッドクロップのカカオポッドの生育が妨げられる。

しかしここ2、3週間で南西部や南東部に雨が降り、ミッドクロップの生育が進んだ。さらに今週火曜日には、今年最大の降雨があり、カカオ豆の成熟を後押しした。

ナイジェリアのオスン州の農家は「火曜日に雨がたくさん降った。ミッドクロップの収穫が間もなく開始されるだろう。今後ももっと雨が降ってくれることを祈っている。」と述べた。

ナイジェリアでは南部だけで国の95%にあたる約30万トンを生産している。

ナイジェリアのカカオ協会(CAN)の担当者は「4月には、ナイジェリア第2位の生産地である南東部のクロスリバー州で、ミッドクロップの収穫が始まるだろう。」と述べている。南西部のオグン州ではここ2週間雨がよく振った。

南西部のオスン州でも雨が十分に降ったことにより、ミッドクロップは順調に生育している。このままのペースでいけば4月中旬前にミッドクロップの収穫が始まるだろう。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp